

第 20 回 応用薬理シンポジウム

シンポジウム協賛

趣意書

平成 30 年 8 月 3 日(金)～4 日(土)

会場： 大田区産業プラザ PiO

会長： 杉山 篤

東邦大学医学部薬理学講座 教授

第 20 回応用薬理シンポジウム開催のためのご協力のお願い

平成 29 年 12 月吉日

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、第 20 回応用薬理シンポジウムを 2018 年 8 月 3 日(金)・4 日(土)の 2 日間、大田区産業プラザ PiO において開催する運びとなりました。応用薬理研究会は、1967 年に創設されて以来、我が国の創薬研究に多大な貢献をしてきた学会であります。

今回の第 20 回応用薬理シンポジウムは「～健康寿命延長への挑戦～」をテーマに設定いたしました。創薬研究としての応用薬理学は、近年ますます多方面に渡って発展しております。今大会では、機能性食品および生薬の活用に加えて、安全性薬理学におけるマイクロミニピッグの活用およびドラッグリプロファイリングについてのシンポジウムを企画いたしました。特別講演としては、応用薬理における iPS 細胞の最前線について、また分子標的薬の最前線についてご講演いただく予定です。さらに第 20 回の記念大会として、理事長である東北大学名誉教授の大泉康先生に記念講演をお願いしております。

本来、学会の開催は会員の年会費および参加費などでまかなうべきであります。運営上様々な出費が見込まれます。その一方、できるだけ多くの方に参加していただけるよう参加費を抑える必要もあり、今回の応用薬理シンポジウムを実り多いものとするためには、関係各位のご支援が不可欠であります。

つきましては、誠に恐縮に存じますが、本第 20 回応用薬理シンポジウムの趣旨と意義をご理解いただき、皆様方よりのご協力、ご支援をいただければ幸甚でございます。

何卒宜しくご勘案の上、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

謹白

第 20 回応用薬理シンポジウム

会長 杉山 篤

(東邦大学医学部薬理学講座 教授)

開催概要

名 称：第 20 回応用薬理シンポジウム

「～健康寿命延長への挑戦～」

会 期：平成 30 年 8 月 3 日(金)、4 日(土)

会 場：大田区産業プラザ PiO

(〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20)

会 長：杉山 篤 (東邦大学医学部薬理学講座 教授)

プログラム：

シンポジウム、特別講演、第 20 回記念講演、一般演題、
ランチョンセミナー等

問い合わせ先：

第 20 回応用薬理シンポジウム 学会事務局

市川 由理 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

後藤 愛 (東邦大学 医学部 薬理学講座)

〒143-8540 東京都大田区大森西 5-21-16

東邦大学医学部薬理学講座

TEL：03-3762-4151 内 2363 FAX：03-5493-5413

E-mail: oyoyakuri20@ext.toho-u.ac.jp

収支予算

収入の部			支出の部		
項目	内訳	金額	項目	内訳	金額
参加費	事前登録 6,000 円	600,000	会場費	会場使用料、設 営費、看板等	1,500,000
	当日参加 8,000 円		運営費	HP 管理、受付シ ステム等	300,000
懇親会費	事前登録 6,000 円	200,000	印刷費	要旨集	800,000
広告掲載料		750,000		ポスター、チラ シ、封筒 他	100,000
ランチョン セミナー共催料	2 日間	1,000,000	飲食費	ランチョンセミ ナー弁当代、懇 親会費、コーヒ ーサービス等	800,000
企業展示		500,000	招聘費用	宿泊交通費等	700,000
寄付金		1,500,000	人件費	アルバイト代	350,000
計		4,550,000	計		4,550,000

第 20 回応用薬理シンポジウム 組織委員

(五十音順)

横浜薬科大学食化学研究室・総合健康メディカルセンター 准教授	出雲 信夫
日本大学薬学部薬理学研究室 教授	伊藤 芳久
東北大学 名誉教授 (応用薬理研究会理事長)	大泉 康
国立医薬品食品衛生研究所薬理部 部長	諫田 泰成
静岡県立大学薬学部・薬学研究院生体情報解析学分野 教授	黒川 洵子
東邦大学薬学部生薬学教室 教授	小池 一男
東邦大学医学部薬理学講座 教授 (第 20 回応用薬理シンポジウム 会長)	杉山 篤
東邦大学医学部東洋医学研究室 准教授	田中 耕一郎
東邦大学薬学部薬物学教室 教授	田中 光
東邦大学薬学部薬理学教室 教授	田中 芳夫
東邦大学薬学部薬物治療学研究室 教授	高原 章
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科病理学研究室 教授	谷本 昭英
東邦大学医学部薬理学講座 准教授	内藤 篤彦
北里大学獣医学部獣医学科毒性学研究室 教授	中村 和市
新潟薬科大学 名誉教授 (応用薬理研究会副理事長)	長友 孝文
横浜薬科大学食化学研究室 准教授	速水 耕介
静岡県立大学薬学部薬学科分子病態学分野 教授	森本 達也
静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 薬学研究院 薬食研究推進センター長 特任教授	山田 静雄
横浜薬科大学 特任教授・総合健康メディカルセンター センター長 (応用薬理研究会副理事長)	渡邊 泰雄

シンポジウム協賛募集要項

シンポジウム協賛を下記の条件で募集いたします。第 20 回応用薬理シンポジウム組織委員会と協賛企業との共催となります。シンポジウムの名称は協賛企業名を冠して「〇〇〇株式会社（協賛企業名など）シンポジウム：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（シンポジウムテーマ）」のようになすことができます。自社製品の宣伝を兼ねても構いませんが、宣伝に終始することがないようにご注意下さい。なお、お申し込みは申込書に必要事項をご記入の上、下記申込先まで郵送もしくはファックスにてご送付ください。

開催日時 2018 年 8 月 4 日(土) 9:30 ~11:00 （予定）

※プログラムにより若干時間変更がある場合があります。

会場 大田区産業プラザ PiO（〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20）

※ プロジェクター・マイクは学会側で用意します。

※ ご自分のパソコンでのご発表をお願いいたします。プロジェクターの接続端子は Mini-sub 15 pin に対応しておりますので、必要に応じて接続端子をご準備ください。

協賛料金 料金 100,000 円

※座長/講師への謝礼（宿泊・交通費を含む）・控室での飲食等は上記金額に含まれず、各社のご手配ならびにご負担とさせていただきます。

申込期限 平成 30 年 4 月 30 日（月）

申込方法

添付の申請用紙に必要事項を記載の上、郵送またはファックスにて第 20 回応用薬理シンポジウム事務局にお送りください。申込書を確認後、請求書をお送りいたしますので、指定日までに下記指定口座へお振込みください。なお、銀行発行の振替控えをもって、領収書に代えさせていただきます。申し訳ございませんが、振込手数料は各社にてご負担願います。また、小切手等での受領はいたしかねます。

振込先口座

第 20 回応用薬理シンポジウム 代表 杉山篤

（ダイニジュッカイオウヨウヤクリンポジウム スギヤマ アツシ）

三菱 UFJ 銀行 蒲田支店 117 普通 0857887

申込期限：平成 30 年 4 月 30 日

FAX:03-5493-5413

申込日：平成 年 月 日

申込先： 第20回応用薬理シンポジウム学会事務局
東邦大学医学部薬理学講座 市川、後藤
〒143-8540 東京都大田区大森西 5-21-16
TEL:03-3762-4151(内線 2365) FAX:03-5493-5413

第 20 回応用薬理シンポジウム
シンポジウム協賛申込書

■ 申込者

会社名 団体名	フリガナ	
	印	
住所	〒	
担当者	所属部署	氏名
	役職	
	TEL	FAX
	E-mail	

※ご記入いただいた個人情報については、本会の連絡のご案内以外には使用いたしません。

座長・演者名 ※予定・候補でも結構です。